

ベルマーク新聞 2月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

「小さな善意が集まり、形になる経験」

ベルマーク便りコンクール優秀賞 東京・大田区立馬込第三小



①取材日に集まってくれた皆さん ②馬三委員会の子どもたち ③保護者と子どもと一緒に活動 ④いちごのバックを使って「ワケワケ」 ⑤みんなでお買いものガイドを見ました ⑥協力への感謝を伝えるポスター作り

「できる人が できる時に できることをやっとうこう！」

ベルマーク便りコンクールで優秀賞に選ばれた東京都大田区立馬込第三小学校の「馬三ベルマークボランティア」のモットーです。

PTA が取り組んでいたベルマーク活動は、コロナ禍で廃止の危機に直面しました。活動ができなくなり、「このまま廃止でよい」という意見も出ていました。一方で、「やってみたら楽しかった」「これなら家でもできる」という声もありました。そこで2022年6月、PTAの役員だった田口朝子さんは総会でアンケートを実施。アンケート用紙には、運動の目的を紹介する文面を加えました。

ただ、PTA 活動としてやることを負担に感じている人がいることも事実。そのため田口さんはアンケート実施時に、ボランティア活動として続ける選択肢を提示しました。ボランティアになった場合に、活動に参加してくれるかどうかとも同時に尋ねました。

ふたを開けてみると、回答数の約6割の世帯が継続を希望し、その約半数がボランティアでとの回答でした。

「楽しかったから、またやりたい」「できる時間で役立つことをしたい」「子どもと一緒にできる活動をしたい」…

様々な思いをもった人たちが集まって、ベルマークボランティアが結成されました。自分たちの学校以外の支援にも

つながる活動だと初めて知り、関心をもってくれた人もいました。田口さんは「活動の趣旨、目的をきちんと伝えることも大事だ」と感じたそうです。

2022年10月、田口さんと藤嶋亜季さんが世話人となり、ボランティアが発足しました。メンバー初顔合わせで決めたモットーが冒頭の「できる人が できる時に できることをやっとうこう！」です。加えて、子どもたちと一緒に活動をやっとうこう、と世話人の間で決めました。

藤嶋さんは、活動を説明する子どもたち向けの動画を自宅で撮影し、校内放映してもらいました。保護者向けには説明会を開催し、活動への理解やメンバーの募集を呼びかけました。また、メンバー

は回収箱を作成したり、備品を準備したり、子どもたちが楽しく参加してくれる工夫について意見を出し合いました。

ボランティアとなったことが影響してなのか、メンバーの一人一人が自主的に活動を進めることができている。

ベルマーク活動について田口さんは「時代と逆行していると言う方もいますが、私たちには保護者と子どもたちが集まって過ごす楽しい時間。小さな善意が集まって形になるという経験は、未来の誰かへとつながっていくと思います」。藤嶋さんは「活動が『学校と地域』『子どもたちと、見守ってくださる近隣の皆様』をつなぐきっかけになればと思っています」と話してくれました。

創立40周年の記念にバスケットゴールを

東京・町田市立小山田南小

「創立40周年の記念に、そして統合後も長く使えるものを買おう」

東京都町田市にある市立小山田南小学校(清水淳校長、児童535人)が、ベルマーク預金を使って移動式バスケットゴールを買いました。大きく頑丈なゴールですが、タイヤが付いているため自由に移動させることができます。今後を見据えて、あえて「移動式」を選びました。

同小が開校したのは1984年4月。昨年10月には40周年を祝う記念式典がありました。しかし、小山田南小としての記念式典はこれが最後。2031年度に近隣の学校との統合が予定されているためです。

統合前最後の周年事業となった今回、これまで保護者が中心となって集めてきたベルマークで、お買いものを

することにしました。話し合いの結果、古くなっていたバスケットゴールを買い替えることに決定。荒牧賢之介副校長によると、決め手は「作りがしっかりしているだけでなく、動かせる。将来、新校舎にも持っていくことができる」ということでした。

協力会社のセノーから商品が届くと、さっそく開封。その日のうちに組み立てて、校庭に設置しました。この日も休み時間になると、子どもたちが「俺もシュートできるよ」「よし、入った!」と、思い思いに体を動かしていました。



緊急友愛援助を募集

「能登半島地震」の被災地へ

今年1月1日に発生した「能登半島地震」において、参加団体からの緊急の友愛援助を募集します。財団の援助資金と合わせて、被災された石川県内の学校に支援をします。友愛援助は、参加団体が自分たちの備品購入の代わりに、ベルマーク預金を寄付にあてる仕組みです。

財団ホームページ(<https://www.bellmark.or.jp/foundation/30005877/>)にある「緊急友愛援助寄付申込書」に金額など必要事項を記入し、署名・押印のうえ、財団に郵送してください。2024年3月末日必着です。 輪島市立輪島中学校(提供:朝日新聞社)



プリントとブログで多くの人にアピールを

ベルマーク便りコンクール佳作 東京・大田区立矢口小

東京都大田区の区立矢口小学校（井上光広校長、児童521人）が初めての応募で佳作を受賞しました。応募作品はプリントとブログのふたつの形式。プリントはベルマーク担当の保護者が、ブログはPTA活動の広報を担当する保護者が更新しています。異なる形式でのアピールが多くの人に関心を高めることにつながっています。

応募を決めたのはPTA副会長の川住雅美さん。初めは分からないことだらけだったそうですが、財団ホームページを読みこんで、運動のしくみについて知識を深めました。そのように得た情報を反映したのが「ベルマークだより」。3枚のうち、2枚は川住さんが作成、1枚はウィークデイサポーターの中野舞さんが作りました。

ウィークデイサポーターは、ベルマークの集計や平日の行事のサポートをしている保護者です。同校ではコロナ禍以来、協賛会社ごとのキャビネットを設置。マークを持ってきてもらった時点で仕分けてもらうため、サポーターはすでに会社別になったマークを自宅に持ち帰り、集計することができるようになりました。



①活動に携わるウィークデイサポーターの皆さん ②ベルマーク番号別に仕分けることのできるキャビネット ③マークの整理をする「集計会」

このように個人で出来る体制を整えてきましたが、コロナ禍が落ち着いてきた今年度、サポーターの皆さんはある提案をしました。それが「自宅で、一人で作業するのではなく、みんなで集まり、さらにボランティアを募ってみたい」というもの。実際に集まってみると、「コロナ禍で希薄になっていた保護者間の交流の場の大切さを感じる事ができた」と川住さん。そして、ボランティ

アを募集するにあたり必要だったのがプリントとブログでの呼びかけです。特にブログでは、集計会の様子を写真に撮って紹介することで、場の雰囲気をもリアルに伝えることができました。

今後の目標は18個の傘立て。集めたマークを全校児童に還元できるように、クラス数分を目標にしました。目標金額の達成は、着実に近づいています。

不思議な現象に夢中／「クリオネ、かわいい！」

新潟・長岡市立太田小中と群馬・中之条町立六合中で理科実験教室

新潟県長岡市にある市立太田小中学校（渡邊節子校長、児童46人）で11月30日、財団のへき地校支援事業のひとつ「理科実験教室」が開かれました。講師は富山大学教育学部准教授の月僧秀弥先生です。

月僧先生がまず取り出したのは、小さなガスボンベのような容器。ふたを開け、中に入っている液体を別の容器に移すと、なんと霧のような白い煙が発生し、机から体育館の床に広がりました。「これは液体窒素。マイナス196度で沸騰するから一瞬で気体になるんです」



自分たちで実験もしました。透明のプラスチックコップを2つ用意し、底同士をテープでくっつけて砂時計のような形にします。くびれの部分にクリッ

プを付け、輪ゴムをクリップにひっかけてくびれの部分でグルグル巻きにします。そしてコップを回転させながら飛ばします。飛ばし方によっては、野球のカーブのように曲がったり、ブーメランのように戻って来たり。

月僧先生は「『マグヌス効果』とか『ジャイロ効果』といって大学で勉強する現象。テレビや本で見るとは違い、実際に自分でやってみると、よく分かると思います。これからもいろんなことを体験して、なぜそうなるのかよく考えてください」と子どもたちに伝えました。

群馬県中之条町の町立六合中学校（桑原武史校長、生徒9人）では、1月16日に理科実験教室がありました。講師は北海道紋別市にある道立オホーツク流氷科学センターの学芸員、桑原尚司さん。「クリオネ先生」の愛称で知られ、新種のクリオネを発見した研究者です。



この日は大雪のため、学校は臨時休校に。このため急ぎよ、出勤した教員たちに向けて授業を行い、その様子

をビデオ撮影することにしました。「ダイヤモンドダスト」や「過冷却」の実験を披露すると、「おお、すごい」と先生たち。桑原さんは授業の最後に「この当たり前が世界の当たり前とは限りません。広い視野を持って色々なことに興味を持って欲しい」と、ビデオを通じて生徒たちに呼びかけました。

翌17日、登校した生徒たちは実験の様子をビデオで見ました。そして、桑原さんから贈られた本物の流氷とクリオネと対面。生徒たちは、「かわいい」「パタパタしてる」と歓声をあげていました。

先生は「六合という地域で生活している子どもたちにとっては視野を広く持つことができ、今後の生活に生きると思う」と感想を話しました。



なぜ?で学ぶ土砂崩れのキケン

奈良市立辰市小で防災科学教室

奈良市立辰市小学校（伊田隆校長）で1月19日、防災科学教室が開かれました。2学年ごとに3回に分けて開催され、計約250人の児童が参加しました。防災科学教室は、国立研究開発法人防災科学技術研究所（防災科研）と財団が共催する自然災害への備えを学ぶ教室です。防災科研広報・ブランディング推進課の砂見吏佐さんの報告をもとに紹介します。

講師は、防災科学研究員の石澤友浩さん（水・土砂防災研究部門）です。

今回のテーマは「雨や地震で山や地面がキケン！なぜ？そしてみんなができること」。土砂崩れや液状化など、地震や雨によって「どんなことが起きるのか」「なぜそうなるのか」を、石澤さんが記録画像や実験映像を使って説明しました。

盛り上がったのはクイズ。スライドに映し出された問題を見ながら、児童たちは両手で○や×を作って答えて

いました。ふだんは教室で机の下にもぐって身を守る訓練をしている子どもたち。今回の開催場所が体育館だったこともあり、「机がない場所で地震が起きたら」の身の守り方や避難の仕方などのアドバイスを受けました。

小学校の近くに川があることから、石澤さんは学校周辺のハザードマップを示して氾濫が発生したときの注意や避難経路で想定される被害などを分かりやすく説明しました。最後に「避難場所に避難するのではなく、安全な場所に避難することが大事」「災害用伝言ダイヤル171を家族の間で共有し、番号を覚えておくこと」の2点については必ず覚えて帰るようにと、児童たちにお願いました。

教室の後、武内寛康教頭から「私自身もそうですが、ほかの教員からも大変分かりやすく児童たちのためになる講演だったと声があがっていました」と感謝の言葉がありました。



100万点を収集、財団に寄贈

ジブラルタ生命保険

協賛会社のジブラルタ生命保険（ベルマーク番号 15）が12月14日、社内で集めたベルマーク約100万点を財団に寄贈しました。同社執行役員補佐の松本哲さんと、コーポレート・クオリティ推進チームの及川健太郎さんと山内理紗さん、提携団体チームの田中紗矢さんの4人が会社を代表して届けてくれました。

同社は協賛会社として、全ての保険商品に一律100点のベルマークを付けるだけでなく、全国各地にある営業拠点がマークの収集にも取り組んでいます。

毎年、たくさんのマークが集まる理由のひとつに「インターナショナル・ボランティア・デー」もあります。

10月の第1土曜日を、社員が各拠点の地域にある福祉施設や神社の清掃、ハーフマラソンの運営補助などのボランティアをする日とし、その日にベルマークの整理に取り組むチームもいるそうです。「学校を担当している社員も多くいることから、ベルマークに対する思いはかなり強い」と社員の意識の高さを話してくれた松本さん。支援先の学校が、必要な備品を自分たちで選べるというベルマークの仕組みにも触れ、「環境の変化などで、そのときどきによって必要な品物は変わる。ベルマークはその要望に応えることができる」と改めて、運動の魅力についても語りました。



左から及川健太郎さん、山内理紗さん、田中紗矢さん、松本哲さん。思いやりの気持ちをハートに込めて

オイスカ浜松国際高へ3度目の寄贈

キリンビバレッジとタカラ・エムシー

静岡を中心にスーパーマーケットを展開しているタカラ・エムシー（本社・静岡市駿河区）と、協賛会社のキリンビバレッジ（ベルマーク番号 54）は共同のキャンペーンと店舗内の回収箱の設置で集めたベルマークを12月15日、オイスカ浜松国際高等学校（鬼石貞治校長）に寄贈しました。

この日、寄贈にあたって約2時間のプログラムを実施しました。冒頭、キリンビバレッジ執行役員中部圏統括本部長の小林雅敬さんが「ベルマークキャンペーンの実施は3度目、前回のキャンペーンに比べ倍以上の応募がありました。今後も継続しながら多くの方々のお役に立てたら嬉しい」と挨拶。プログラムは校内各教室をリモートでつなぎ、すべての生徒が参加。同校のベルマーク活動の中心的役割を担う「ベルマーク委員会」からのプレゼンテーションや、食品ロスなどのSDGs勉強会、クラス対抗・SDGsクイズ大会などで盛り上がりました。



ベルマーク寄贈では、タカラ・エムシーの上野拓社長から代表生徒に、「フードマーケットマム」のオリジナルマイバツ

グにぎっしり詰まったベルマークが手渡されました。上野社長は「寄贈させていただいたベルマークを有効に活用してください」。同校の鬼石校長は「本当に心温まる贈り物をいただきました。ベルマーク委員会の地道な活動も、この気持ちをいただいています。励みになります」と感謝を伝えました。

グにぎっしり詰まったベルマークが手渡されました。上野社長は「寄贈させていただいたベルマークを有効に活用してください」。同校の鬼石校長は「本当に心温まる贈り物をいただきました。ベルマーク委員会の地道な活動も、この気持ちをいただいています。励みになります」と感謝を伝えました。

大台達成校

1月
大砂土東小

さいたま市見沼区	10,023,788
中田小	横浜市泉区 8,002,584
横内小	静岡市葵区 8,001,979
中野島小	川崎市多摩区 6,020,947
新橋小	横浜市泉区 5,021,985
多肥小	高松市 5,088,960
平佐西小	鹿児島県薩摩川内市 5,002,939
晃華学園小	東京都調布市 4,020,849
益世小	三重県桑名市 4,001,973
湖北台東小	千葉県我孫子市 2,003,737
大島小	富山県射水市 2,105,854
富士根南中	静岡県富士宮市 2,023,545
大庭小	神奈川県藤沢市 1,038,158
大野町立中小	岐阜県大野町 1,009,475
上里小	京都市西京区 1,002,475
日吉台小	大阪府高槻市 1,011,326
豊川南小	大阪府箕面市 1,034,745
三成小	広島県尾道市 1,004,454

友愛援助リスト

〈能登半島地震〉1月17日～1月31日
◆栃木県 西那須野幼稚園（那須塩原市）石橋中（下野市）◆東京都 山王小（大田区）◆神奈川県 保土ヶ谷小（横浜市保土ヶ谷区）◆長野県 松代小（長野市）◆静岡県 鷹岡中（富士市）◆三重県 小俣小（伊勢市）◆島根県 岡見まちづくりセンター（浜田市）◆岡山県 吉備高原希望中（吉備中央町）

〈友愛援助申し込み〉1月1日～1月31日
◆山形県 寒河江小（寒河江市）◆福島県 矢祭小（矢祭町）◆埼玉県 加治小（飯能市）◆東京都 第四小（東大和市）多聞小（世田谷区）◆神奈川県 大谷戸小（川崎市中原区）清泉女学院中高（鎌倉市）◆新潟県 宮内中（長岡市）◆長野県 吉田小（長野市）◆岐阜県 白鳥小（郡上市）◆静岡県 オイスカ浜松国際高（浜松市中央区）◆愛知県 豊橋南高（豊橋市）◆山口県 良城小（山口市）◆長崎県 長崎商高（長崎市）

「くれたものをつかって、べんきょうをがんばる」

へき地校2校から感謝メッセージ

今年度、財団が支援したへき地校のひとつ、徳島県の美波町立伊座利小学校（高井賢二校長、児童7人）から感謝メッセージが届きました。交通の便を理由に、離れた地区にある由岐中学校の伊座利分校（生徒2人）も同じ場所にあります。

寄贈品を選ぶ作業では、「買いたくても購入できないものや人数が少ないために購入できないものを検討した」と高井校長。その結果、今年度認可された特別支援学級に置ける備品にしようという職員全員の思いが一致し、ジャンピングシェイプやスキルカードを選びました。特別支援学級に通う児童からのお手紙には、「これからもくれたものをつかって、

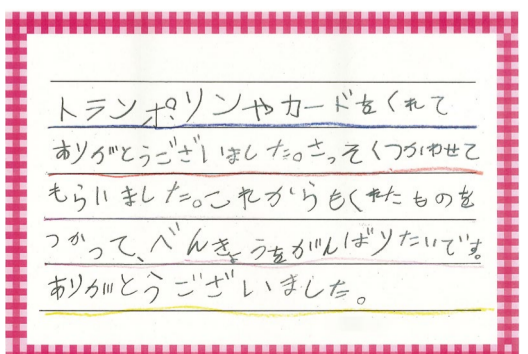
べんきょうをがんばりたい」と記されていました。また、毎年欲しいと思っていたながらなかなか購入できなかった琴も選びました。「このような活動は、学校現場にとって本当にありがたいものです」と高井校長は話してくれました。

「にぎやかそ にぎやかな過疎の町」をうたい、地域振興に取り組む美波町は、徳島県の南東部にあります。町の南東部は広く太平洋に面しており、伊座利小の子どもたちも、釣りや伊勢海老漁の体験など、海にまつわる体験学習に取り組んでいます。

長崎県の対馬市立仁田中学校（八坂健一校長、生徒27人）には、ワンタッチ

テント、トランシーバー、CD ラジカセなどを贈りました。全校生徒で陸上や駅伝大会の練習に取り組んでおり、ワンタッチテントは熱中症が心配される夏場の練習に活躍しました。近くの小学校と保育所と合同で10月に開催した運動会でも、会場の小学校の校庭に持ち込んで使いました。永留健太教頭は「少人数でもあっという間に設置でき、とても便利です」と話しました。

長崎県の対馬にある同校は、近くに天然記念物のツシマヤマメコを保護する対馬野生生物保護センターや、日本在来種の馬「対州馬」を飼育する馬事公園があり、生徒たちの学習の場になっています。



①琴に触れる子ども ②特別支援学級の児童が書いてくれたお礼の手紙(美波町立伊座利小) ③ワンタッチテント(対馬市立仁田中)

能登半島地震への
友愛援助も募集中!!



読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

『ちやうちやうちやうねん』(もりなつこ・作、はしもとえつよ・絵、文研出版)

月曜の朝、教室で幼なじみのあつくんから「ぼく ゆいちゃんのこと すきかも」と言われ、「なんで」と聞くと、「らいしゅう おしえるわ」という返事。次の月曜日から、ゆいは理由らしいものを考えて毎日あつくんに確かめてみますが、その度に「ちやうちやう、ちやうねん」の返事。さて、本当の理由は？ 幼年童話を絵本にしたという印象ですが、顔のアップを多用した画面構成が効果的で、思わずひきこまれます。(低学年向き、1500円＋税)



『てぶくろ』(ジャン・プレット再話・絵、おかだよしえ・訳、岩崎書店)

『てぶくろ』といえば、動物たちが次々に手袋の中に入ってくる、内田莉紗子さん訳の福音館書店の絵本がすぐ浮かびます。これはウクライナの民話が元ですから、他の再話があってもおかしくないわけで、この絵本もその一つ、1999年に出版されたものの復刊です。福音館書店版では手袋の片方を落としたのはおじいさんですが、こちらは男の子で、おばあさんが編んでくれた毛糸の手袋という設定。お話自体も絵も、そうした枠組みがはっきりしているのが特徴でしょうか。ぜひ、二つの『てぶくろ』を読み比べてみてください。(低学年以上向き、1500円＋税)



『ふゆのあとにははるがきます』(石井睦美・文、あべ弘士・絵、アリス館)

男の子が見上げた空に雪虫が飛んでいる場面から始まり、山にも町にも雪が降り積もりまします。男の子も山の動物たちも春を待ちかねた頃、森の木の根元の雪が解け、春の到来を告げます。全体に叙事詩のような趣の絵本で、雪国に暮らす子にとっては自分たちの暮らしの再発見の、雪のない地域の子にとってはあこがれの絵本になるのではないのでしょうか。(低・中学年向け、1500円＋税)



低・中学年向け

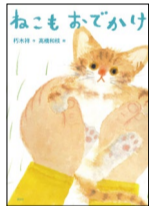
『ひみつだけど、話します』(堀川理万子作・絵、あかね書房)

3年生の4人の子たちの物語が、リレー式につながっていき、最後の第5話でその4人が勢ぞろいします。第1話「足立典生さんと電車」は、電車が大好きでよく踏切で電車を眺めている典生が、「大発見」をする話。とても日常的な題材だからこそドキドキ感。5つの話のつながり方にも無理がなく、一人で読むのも、教室でみんなで読むのもお勧めです。(中学年以上向き、1200円＋税)



『ねこもおでかけ』(朽木祥・作、高橋和枝・絵、講談社)

信が犬のダンの散歩で公園に行った時、突然目の前に飛び出てきた子ねこ。滑り台の下に段ボール箱があり、どうやら捨てねこらしいそのねこ



を家に連れて行き、「トラノスケ」と名付けます。段々大きくなって、外に出かけるようになったトラノスケ。信が後をつける、実はトラノスケには、いろいろ秘密の行動がありました。子ねこをめぐって、様々な出会いや発見を経験する信。このお話は、光村図書の3年生の国語教科書に掲載された「もうすぐ雨に」の番外編というか、元のお話というか、並べて読むと楽しいでしょう。(中学年以上向き、1500円＋税)

高学年・中学生向け

『ぼくらの課外授業』(佐和みずえ・作、仁保和行・絵、小峰書店)

良祐が通う放課後の学童クラブ。他に6年生は大和、花純、真菜の3人だけ。大和は有名中学を目指していて、塾に行くまでの間を学童で過ごすのです。この頃学童で不審なことが続き、4人は土曜日の夜待ち合せて、「ユーレイ探し」にやってきます。そこにいたのは、ユーレイではなく、男の人でした。行く所がなくて、ここで夜を過ごすようになったというのです。よく見ればまだ若いその人が出ていこうとするのを引き留めた良祐たち。その日から、その人・一樹さんを匿う④作戦が始まります。高校を中退し、住所不定で仕事にも就けないという一樹さんに、中学の先生をしている母親から聞いた高卒認定試験への挑戦を勧められる良祐。勉強の手助けができるのは大和と帰国子女で英語のできる花純でした。結局はれてしまいますが、良祐たちを逆にはめてくれたのは、良祐のおじいちゃんでした。そして、一樹さんは新聞配達を



しながら、試験を目指すこととなります。4人の6年生が、一樹との出会いを通じ、家族のありようや、社会のことに目を開かせていくプロセスに、そして4人をとりまく大人たちの姿に、とてもリアリティがあり、これを読む子どもたちにとっても「課外授業」になるのではないのでしょうか。(高学年以上向き、1500円＋税)

『キオクがない!』(いとうみく・作、文研出版)

目が覚めると、そこは病院のベッド。十日前に事故にあったらしいのですが、そのことも、自分のことも、何一つ思い出せません。下り坂で自転車のスピードを出しすぎ、車にぶつかったのだといいますが、奇跡的に打撲程度で済んだのです。退院して自宅に戻った孝太郎がまず驚かされたのは、自分の部屋の汚さでした。そして、小学校2年生の弟は、兄に対して妙にびくついてます。登校を再開すると、不自然なほどに気を遣うクラスメイトたち。自分はいったいどんな奴だったのか。孝太郎は、家族の中で、教室で、部活の中で、次第に浮か彫りになっていく自分の像に戸惑いを深めていきます。



記憶喪失という題材は、大人の小説やテレビドラマなどではおなじみですが、こうして読むと、「自分」という存在と向き合うことを余儀なくされる思春期のドラマとして、多くの読者の共感呼びそうですね。物語を読むことがあまり得意でない、特に男子中学生たちにも、手に取ってほしい一冊だと思います。(中学生以上向き、1600円＋税)

ベルマーク寄贈者(敬称略)

〈マーク寄贈者〉 12月21日～1月20日
北海道 加藤順子 坂本千晶 中道しのぶ 楊優佳 さかいららむ・はがまゆみ 東芝エレベーター(株)北海道支社 加藤由香 高橋啓 南山結花▼青森県 宮本厚子▼岩手県 柳田美栄子 小野寺玉枝 日本一フード(株) チーム(製) 匿名希望▼宮城県 長島千都子 あいおいニッセイ同和損害保険(株)仙台支店 中川美恵子 三井住友信託銀行仙台支店 大友昭 原未帆 和田明香▼秋田県 霊友会秋田Myおせっかい推進委員会 戸嶋祐子 阿部幸子 伊藤ひろみ▼山形県 森恵子 奥山俊 船山志保 匿名希望▼福島県 真田美由紀 石井明・宏美 遠藤香奈子 大河原浩美 加藤順子▼茨城県 下司彰浩 塩幡保浩 (株)不動テトラ 藤田和男 祐成恵美子 西村恵美 森和仁 山口 岡本智恵 吉田真美 赤十字 Eco&Cross 奉仕団 本郷真弓 白田工建(株) 匿名希望▼栃木県 内山正子 東芝エレベーター(株)栃木支店 佐藤晶群 牧野勇一郎 匿名希望▼群馬県 損害保険ジャパネット 群馬支店 設楽歩 スウィンギングスクール 矢島恵子 (株)通友 宮下カツ子 山崎優希 萩原尚子▼埼玉県 (株)ヤマト 鈴木真由美 上原のり子 田中久美子 田原純子 どんぐり文庫 中西美里 原靖枝 荻野忍 北方朝実 佐久間ひとみ 田口飛翔 照雄 平野孝 星佳代子 八坂剛史 大内直子 川上優莉菜 橋本祐子 廣田光男 山根加代子 長谷川 匿名希望▼千葉県 野崎二三子 植木朝子 軽部美治 吉野千鶴子 渡辺由美 handmadeshoppiza さわごろう 植松孝治 永田昭四郎 森靖之 赤井橋合・理子 飯島秀子 小川明子 工藤宏二 久保木信子 国分寺台地区社会福祉協議会 戸田扶美子 阿部真也 関田元子 ちどり保育園 生野順子 匿名希望▼東京都 AGC (株)電子カンパニー先進機能ガラス事業本部一同 J&J 愛をささやく 足立区総合ボランティアセンター 板橋区立小沢福祉園 伊藤雅美 (株)ジャベックスエネルギー 小林康生 菅野真代 田

崎智子 豊田幸子 中一恵 日本生命保険(互) 医事研究開発室(東京) 長谷川生野 町田和枝 松永澄子 水野沙耶 吉田満寿子 あいおいニッセイ同和損害保険(株) 天野陽子 市川佳世子 (株)日本能率協会コンサルティング 北野陽子 杉谷有美 日本メジフィジックス(株) 福本圭三 浦倫生 三上真理 矢田正夫 幸仁クリニック (株)三井住友銀行銀座法人営業第一部 工藤佐和子 コリアーズ・インターナショナル・ジャパン(株) 齋藤啓子 佐藤隆司 杉本健二 多田裕成 鶴山英己 寺田真人 トナミ国際物流(株) リテール営業本部 名取早苗 三橋良江 安島康裕 山口恵美子 吉田みどり アサクラ 浅見あやは 井上育子 岩下真美子 岩永侑花子 加藤恵子 (株)補材サービス 神尾志織 川上洋一 川崎美鈴 慶育会グレースホームケアクリニック多摩 佐藤サリ 佐藤利沙 仁田咲姫 東亜建設工業東京支店 時光花 富田央子 中沢恵美子 濱野六樹 船橋ミツエ 山田こずえ 吉野寿美子 伊藤徹夫 (株)かんぽ生命保険 (株)ワイドシステム 佐々木彰子 田中宣子 BB 団 (株)日本旅行ビジネスクリエイト 日本生命保険(互) 監査部 りらかウンセリング&コンサルティング 匿名希望▼神奈川県 (公) スコーレ家庭教育振興協会 神奈川支社 坂巻順子 坂本道子 坂本洋子 トナミ国際物流(株) 中田寿美枝 大石真由実 小川洋一 佐藤京子 中村笑美子 川岸晃子 白岩明美 全富士通労働組合連合会 高橋裕子 西雄マサ子 若林洋子 (合) ガーデナーシップ 内田尚美 尾関孝太 ちいさな手若葉の丘 松田凌 四ツ橋准子 植松丈夫 角田進 黒川幸代 櫻井浩子 東芝エレベーター(株)神奈川支社 匿名希望▼新潟県 清水ゆかり 天田政子 (株) ナカムラ自動車整備工場 三五麻里江 水ingAM (株) 新津浄化センター 管理事務所 地域密着型複合施設わし武者 佐々木律子 匿名希望▼富山県 林健太郎 上田香緒里▼石川県 マエダエリ 正谷ひとみ 小村郁恵 池田知子 濱東千恵美 匿名

希望▼福井県 細川悦子▼山梨県 駿台甲府高駿台友の会▼長野県 飯田市ボランティアセンター「まめボラの会」大村君江 宮原友希 小林中條春菜 平林産業(株) 鶴田智子 山本史 N 池田八枝美 鈴木佳苗 田村順子 柳澤美帆 横谷貴子 匿名希望▼岐阜県 小野真衣 丸山伊代 吉田真愛 小川敏子 積水ハウス建設中部(株)三岐支店岐阜事業所 西村美奈子 浅井孝彦 大垣市地域のみなさんと中川ふれあい地域貢献プロジェクトチーム 匿名希望▼静岡県 池谷清美 小谷野朱 島田市社協 高松慎至 田中栄利 笹原恵一 桶泰也 安元ユリ 島彩子 坪田綾香 森川直美 匿名希望▼愛知県 稲垣舞子 (株) アクアス (株) サンエス (株) フジトランスコーポレーション 刈谷市社協事業推進課内ボランティアグループ「一起会」 グリーンホーム(株) NTTファイナンス(株) 東海・北陸総合料金センター 鈴木俊夫 ホーユー(株) 経営企画室 山崎すず代 小口忍 土屋友子 米重奈織美 渡辺映始 岡田哲 真和工業(株) 平典子 山口晶子 渡辺設備(株) 一宮市立大和西小6年2組 水野一子 池田照美 匿名希望▼三重県 (株) デンソー大 安製作所 津市民 北川正幸 大仙寺・熊野寺 立新鹿小中 岡本恵一 匿名希望▼滋賀県 キヤノンマシナリー(株) 経営本部経営企画部一同 田川陽介 小泉千香子 設楽宏幸 真鍋武偉 栗東市立治田小 匿名希望▼京都府 下茂里佳 大門由佳 奥田和佳子 萩原重樹 濱崎祐子 藤岡多代 べつつながりの会 松川紀子 大同生命保険(株) 京都支社 中尾幸重 山崎光恵 岩田圭子 高橋孝子 辻村久美子 匿名希望▼大阪府 浦田織江 大島智子 桑原優 坂口孝 菅洋子 永井明江 中谷昭 鍋谷周代 福田内山克基 大久保敦子 大西久子 岡本キヤノン IT ソリューションズ(株) 大阪事業所 小森富美枝 佐藤奈津枝 長岡陽平 中村有木子 西日本高速道路エンジニアリング関西(株) 日本生命保険(互) 商品調査 G 池田ゆい 上場慶一 坂田樹 参河江美子 長澤則枝 中谷直美 村田

圭子 和田正子 青木美穂 介護老人保健施設 ベルモール 澤下その美 谷野恵子 長澤 弘山有美子 深川 富士通(株) CPG 事業部 佐野絵里奈 田村佳代 江舛隆男 指野和代 匿名希望▼兵庫県 阿久津文 小野美智子 國米 江津子 福田登三枝 山本みゆき 増田穂華 山森好恵 荒川龍子 そら 多木博美 田島恵子 田中恭子 中上祥 松野美香 松山佳苗 湊久美子 金澤ゆり子 北垣完 矢田きよ子 山崎洋子 吉田崇規 新井東寿 野々村文絵 匿名希望▼奈良県 森定苑子 奈良市ボランティアインフォメーションセンター 谷口さゆみ 山田貴子▼和歌山県 齊藤幸子 森山尚子 松尾あい▼鳥取県 匿名希望▼島根県 大崎ルミ 中島佳子 弓場智恵美▼岡山県 岡崎芳恵 国枝 佐伯奈緒 大塚泰弘 川上純也 鳥越多美子 匿名希望▼広島県 神野礼美 上安慈光園 岡原靖子 金田絵梨 菅野翔太 トヨタカーラ広島(株) 福山支店 池田淳子 葉田幸子 宮本奈美 麦尾早苗 草間理恵▼山口県 内藤真菜 田中良恵 木船一宝 匿名希望▼徳島県 栗本さなえ▼香川県 野土裕彦▼愛媛県 上野早苗 (株) 窪田工業所 東芝ライテック(株) 今治事業所 宮田奈緒 福居藍子 匿名希望▼高知県 旭食品(株) 中平 (医) 岩河会岩河整形外科▼福岡県 NTTファイナンス(株) 九州総合料金センター 大塩圭那 大庭英治 佐々木隆 高野淑子 田中和佳子 和田久子 大島裕介 川端史子 重松さおり 西田勝則 栗山啓子 馬場邦子 久家恵美 宮崎陽菜 木原健一郎 谷本純子 匿名希望▼佐賀県 馬場裕子 三根和美▼長崎県 久保山繁樹 岩永眞歩 山下田鶴 種村朋子▼熊本県 九州エン!joy 推進会 牧山健二 秋好遼 川添真由美 大原美里 坂本和子 中村房代 渡辺春菜▼大分県 森朱美 上坂美智代▼宮崎県 新名一史▼鹿児島県 玉利可英子 日高京子 匿名希望▼服部かね子 美少女戦士セーラームーン 小倉帆乃果 小川孝子 國吉 伊達直人 服部和子▼無記名=163件